

No 18 特別な教育的ニーズがある子をみんなで育てていくために
(LD・ADHD・高機能自閉症等の理解と支援)

お子さんにこんな様子は見られませんか？

漢字を書いたり読んだりすることがすごく苦手……

すぐに気が散れて最後まで出来ない……

みんなと楽しく遊びたいけど、ルールが守れなくなってしまうことがよくある……

大切な連絡を覚えていようと思うんだけど、忘れちゃって叱られてしまう……

急に予定が変わるとどうしたらよいか分からなくなってしまう……

興味があることは夢中で出来るんだけど、いやなことは全くやれない……



このような困難性が見られる子どもたちの中に、LD・ADHD・高機能自閉症等が背景として考えられる場合があります。LD・ADHD・高機能自閉症等は、脳の機能的な問題によるものと推定されており、親のしつけや本人のわがまま・努力不足によるものではありません。

安心してよりよく育てるためには、周囲の正しい理解と適切な支援が求められています。

周囲の理解と支援でどの子もよりよく育つことができます！

成功の場面を作り、自信をもてるように

うまくできないことを叱られてばかりでは自信をなくします。小さなことでも成功の場面を設け、自信をもつことで精神的に安心できる状況をつくる必要があります。

友だちとの関わり方を学ばせるチャンス

「変な子」として終わりにするのではなく、友だちとどのように関わればよいのか、相手の立場をどんなふうに考えたらよいのか教えていくことが大切です。



よいところに目を向けて

人には誰でも、得意なこと、苦手なことがあります。個性や違いがあってよいことを周囲にも分かってもらい、互いの良いところに着目できるように教えていく必要があります。

子どものよき理解者に

自分のことを分かってくれているという安心感が、何よりも頑張ろうとする意欲につながるものです。子どもが自分への愛情をしっかりと感じ取れるよう共に歩むことが大切です。

LD・ADHD・高機能自閉症等(発達障害の子どもたち)ってどんな子？

LD(学習障害)

全般的な知的発達に遅れはないが、聞く、話す、読む、書く、計算する又は推論する能力のうち、特定のものの習得と使用に著しい困難を示す様々な状態をさすものです。

- ・ 読み・書きがとても苦手
- ・ たし算やひき算の計算を間違えやすい
- ・ 運動が苦手
- ・ 手先が不器用 など

ADHD(注意欠陥/多動性障害)

年齢あるいは発達に不釣り合いな注意力、及び/又は衝動性、多動性を特徴とする行動の障害で、社会的な活動や学業の機能に支障をきたすものです。また、7歳以前に現れ、その状態が継続し、中枢神経系に何らかの要因による機能不全があると推定されています。

- ・ 授業に集中できない
- ・ 忘れっぽい・紛失物が多い
- ・ 考えずに行動してしまう
- ・ 落ち着きがなくふらふらしているなど

高機能自閉症

他人との社会的関係の形成の困難さ

コミュニケーションの障害

興味や関心が狭く特定のものにこだわる

これらを特徴とする行動の障害である自閉症のうち、知的発達の遅れを伴わないものをいいます。また、中枢神経系に何らかの要因による機能不全があると推定されています。

- ・ 一人で遊んでいることが多い
- ・ 含みのある言葉の意味が分からず、表面的な言葉どおりに受け止めてしまう
- ・ 相手の気持ちや周囲の状況をくみ取りにくい
- ・ 自分なりの独特な日課や手順があり変更や変化を嫌がる
- ・ 音やにおいになどとても敏感

など

アスペルガー症候群

知的発達の遅れを伴わず、かつ、自閉症の特性のうち、言葉の遅れを伴わないものです。得意分野の知識などは豊富で、よく話も出来るので、大変誤解されやすくいじめの対象となったり、不登校になるなどの二次的な障害を引き起こしがちです。

- ・ 友人関係をうまく築けない
- ・ 会話がかみ合わない
- ・ 自分の興味があることだけを話す
- ・ グループ行動が苦手
- ・ 思い通りにならないとパニックになってしまう など

これらの定義は、文部科学省の「今後の特別支援教育の在り方について(最終報告)」に基づいています。

それぞれの特性は、重なって現れることが多いと言われています。

診断名や障害名は、その子の特性を正しく理解するためのものです。いじめの対象となったり、不登校などの二次的な障害を起こさないために、保護者も、周囲の人たちも、特性を正しく理解し協力して育てていくことが大切です。

